

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2012年1月 発行／第48号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル 402 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



療育センターに通っている子どもたちの活動の様子

(左上から順に 余暇 終わりの会 順番理解 自己理解 グループ活動)



平成24年 新年のご挨拶

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{なか} ^{むら} ^{せつ} ^し
中 村 節 史

新年のご挨拶を申し上げます。

平成24年という年は当法人にとりましては、第3次中期計画（5ヶ年計画）のスタートの年に当たります。

「北摂杉の子丸」は「多くの課題と夢と希望とそれらを解決し、実現する腕を満載して、新たな船出をする」ことになります。

しかし、残念ながら、今回の航海はとても天気晴朗とは言えず、時々薄日がさすことはあっても、5年ぐらいは荒天が続く中での航海だと腹を決めて出発しなければならないと思っております。

私は今までは、我々を取り巻く経済・社会の状況については、周りの皆さんよりも、かなり強気の見方をしておりましたが、今回ばかりはどうも楽観できる要素はないかと踏んでおります。

世界的にも我が国においても、その年だけには止まらず、かなり後を引きそうな**2012年問題**があります。

- ①政治的不安定要素として、**各国の首脳の一斉交替**、中東・アフリカの反独裁ムーブメント、世界各国における民衆のデモなど
- ②経済的には**EU各国の財政危機騒動**（2000年代のマネーゲームによる急激に大きくなったクレジットデトリバティブの収縮過程での現象で肝はひとつ）
- ③我が国における**円高の継続**、政権の不安定、財政再建、TPP、それに加えて団塊の世代が65歳を迎えるという2012年問題などなどです。

障がい福祉の世界においても、その影響は必ず受けることになると思われ、新政権の誕生で期待された、平成25年施行予定の「(仮称)障害者総合福祉法」も現在の「改正障害者自立支援法」と大差ないものになる可能性もあります。

又財政再建の動きの中で福祉行政にもメスが入ってくるはずですし、各種規制緩和により、介護、保育に加え障がい福祉分野にも海外も含めた民間企業参入の動きが進み始めると思われまます。

このような情勢の変化に対応してきちんとやっていける準備をすることが、法人の戦略、政策であり、そのための「**中期計画の策定**」であると考えています。

幸い当法人には今まで培ってきた優秀な職員、素晴らしいご家族、信頼できる仕事の仲間たちという財産があります。その財産の上に立って

「**北摂杉の子丸**」が、どのような天候の中でも、「**安全で安定した航海を続けることができる**」ための「**法人としての際立ち**」を持つことが不可欠だと思っております。他の言葉で言えば【支援の専門性】、【現場での支援力】、【合理的で透明性のある経営】、【その結果としての法人に対する信頼感と安心感】の更なる磨き上げが不可欠だと考えています。

平成23年度は北摂杉の子会として第2次中期計画の仕上げの年であると同時に、第3次中期計画策定のための準備の1年と位置づけ、法人全体で策定の準備作業を進めてきました。第1

次中期計画、第2次中期計画がそれぞれ「法人の基礎固め」、「法人の適正規模の確保」でしたが、第3次中期計画のキーワードは「**質の磨き上げ**」としています。

これからの5年間は法人設立の原点である「地域に生きる」という法人の理念の実現、特に利用者・ご家族サイドに立った支援の向上のために「**あらゆる面における質の磨き上げ**」に一丸となって取り組むことだと思っています。

平成23年度の第3次中期計画への準備の活動としては、以下の重要な3つの課題に注力して取り組んできています。いずれも時間と労力と根気を要するハードルの高いテーマですが、喫緊の課題であるとともに今後の5年間においても法人の重要課題となるテーマです。

①**新規ケアホーム開設**に向けての取り組み

平成24年4月開設の特に重度の行動障害のある方の新ケアホームの建設。

②**発達障がい児療育支援事業の継続・強化**に向けての取り組み

大阪府から市町村への事業の移管にともなう混乱の解決と療育事業の強化。

③**利用者の高齢化とそれに伴う障がいの重度化への対応**

特に**医療との連携**の仕組みの構築。

これらのテーマにつきそれぞれ役割分担をして法人全体として取り組みを進めました。活動の結果としてもかなりの進展をみましたが、活動を通じて今後の北摂杉の子会にとって、とても大切な事柄を改めて学ぶことができました。

①情熱と志とあきらめない心の大切さ

②職員・ご家族との間の共感（同じ思い）の大切さ

③同じ志と目的を持つ仲間と「手をつないでいく」ことの大切さ

（行政や政治に携わる人も含めて）一衆を頼んだ圧力団体ではなく－

④受け身ではなく**能動的に提案**していく力

と風土の大切さ

これらは今後の活動の基本になる事柄ですから、法人全体としてしっかり肝に銘じておきたいと思っています。

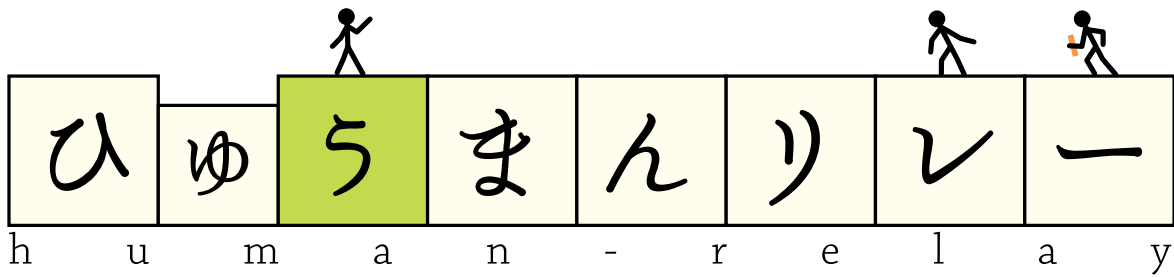
第3次中期計画や平成24年度の事業方針につきましては、機関紙の4月号に掲載いたしますが、今年度の2月に計画の取りまとめを行い、3月には法人としてオーソライズを行って新年度の活動に入っていきたいと思っています。

皆様方の一層のご支援、ご鞭撻を何とぞよろしくお願い申し上げます。



蛇足ですが、平成24年の干支は「壬辰」－みずえたつ－ですが、この年は「正義感」と「信用」の大切な年といわれています。又「水のように自由に適合していく」ことが求められている年だともいわれています。

「大変が普通の年」といわれる時代の中で、何となく当たっているような気がしますので、私もこれらを頭に置きながら、一年の活動を進めてまいろうと思っています。



読み書き相談室ココロ

(東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室／学振特別研究員 PD〈博士〉)

むらた みわ
村田 美和さんより

読み書きのハードルをどうやって飛び越える？

● 読み書き障害とは？

皆さん、読み書き障害を知っていますか？読み書き障害とは、知的には遅れがないけれども、書くことや読むことだけがうまくできないという障害のことです。授業は理解できるし、友だちとの会話も自然にできる、しかし読むことや書くことが上手にできないため、テストでいい点数がとれなかったりします。読み書きが上手にできないと、黒板がうまく写せなかったり、皆の前で上手に音読ができなかったり、テストが時間内に終わらなかったりと、学校での学習場面で多くの困難がともないます。

● 読み書きという名のハードル

読み書きは、小中学校における全ての教科学習の入り口に設置されている、ハードルのようなものです。読み書きのハードルが乗り越えられない子どもは、その先にある、知識を取り入れたり、内容を理解したり、熟考したりといった、勉強の本当に楽しい部分にたどり着くことができません。読み書きができないからといって、勉強をする権利が奪われてしまうということは、あってはならないことです。

● 読み書き障害の特徴を見分ける

それでは、どのようにして読み書きのハードルを乗り越えたら良いのでしょうか。読み書きへの困り感は、子どもによって違うということがわかっています。そのため、効果的な学習をするためには、個々人の特徴を見分けることが大事です。現在、私が所属している中邑研究室では、デジタルペンを用いて、読み書きの発達のメカニズムを解明しようとしています。デジタルペンとは、カメラやメモリが内蔵されたペンのことで、文字を書く様子を記録することができます。デジタルペンを使うと、ノートをとることの大変さや、どこでつまづいているのかがわかります。例えば、漢字のテストがいつも0点のA君とB君がいたとします。実はこの二人、デジタルペンを使って書かしてみると、漢字が書けない原因が全く違いました。詳しく調べてみると、A君は、デジタルペンで、漢字を書き写すのに時間がかかり、枠からはみ出て、複雑な漢字になると間違いが多くなることがわかりました。B君は、漢字を書き写すことは上手にできるのですが、見本がないと息だすのに時間がかかったり、書けなかったりすることがわかりました。

●特徴に合わせた練習

このA君とB君は特徴が異なるため、効果的な練習方法も異なってきます。例えばA君には、一画ずつ色を変えて漢字練習をするという方法に効果がありそうです。一方でB君は、「木の上に立って見ているおや(親)」などと、漢字1文字ごとに物語を作ると覚えやすくなるかもしれません。二人とも漢字を書くのが難しいという部分では共通していますが、難しさの原因となっている特徴が異なるため、それぞれの特徴に合った練習方法を提案することがとても重要になってきます。

●練習すれば伸びる？

しかし、練習するうえで注意しなければならないことが2点あります。実は、練習をすればある程度は伸びますが、周囲の子どもの読み書きレベルに追い付けるかという点、それは難しいと言われています。そこで1点目として、「がんばればできる！」という認識をもたないこと、そのような態度で子どもに接さないことです。子どもは、その言葉を信じて、他の子と同じような練習でひたむきにがんばってしまいます。がんばって他の子と同じような練習をしても、自分だけ身につかないとなると、自信を失い、読むこと書くことが嫌いになり、勉強そのものへのモチベーションが下がってしまいます。

2点目として練習して自分の力を伸ばす以外に、他の手段も考えておくことです。読み書きのハードルを乗り越えるためには練習で補えない部分をどうするか。そこで役立つのが、テクノロジーです。

●テクノロジーによる読み書き支援

読み書き相談室ココロでは、テクノロジーを用いた読み書き支援を行っています。テクノロジーというのは、特別な機械のことを指しているわけではありません。パソコンや携帯電話、タブレットPCなど、身近にあるものを利用して読み書きのハードルを乗り越えようという考え方です。例えば、読むのが遅い、苦手な場合は、パソコンの音声読み上げ機能や、iPadの拡大機能を使うことで、皆と同じペースで読み進めることが可能になります。また、書くのが遅い、苦手な場合は、書く代わりにパソコンなどのタイピングを使ったり、黒板をデジカメで、先生の話やICレコーダーで記録することもできます。そうすることで、勉強の中身に集中することができます。読み書き相談室ココロでは、他にも様々なテクノロジーの使い方を紹介しています。テクノロジーを用いることで、一人でも多くの子どもが、読み書きのハードルを飛び越えられるように、今後も研究を進めていきたいと考えています。



地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



社会福祉法人 関西中央福祉会 地域生活支援センターえんじょい

管理者 岩 佐 貴 之 さんより

「地域生活支援センターえんじょい」は、大阪市から委託を受けて、地域生活されている、もしくはこれから地域生活しようと考えている障害者及びそのご家族、関係機関の方からのご相談をお受けしているセンターです。現在当センターの圏域としては、淀川区・西淀川区・東淀川区ですが、市内のその他の区や近隣の市からのご相談もあります。特徴としては、スタッフ全員が何らかの障害を持っていることです。障害種別は違ったとしても、これまでの経験や思いは共通する部分が多く、障害者であるからこそ共有できると考えるからです。

主な相談内容としては、福祉制度を利用する為の調整から障害受容や仕事、恋愛など様々ですが、当センターでは、地域で自分らしく生活するためにはどうしたらいいかを障害を持つスタッフがご本人と一緒に考えていく「ピアカウンセリング」をベースにしています。

また当センターは相談だけではなく、障害があるために経験ができなかったことで、地域生活するために必要なことを一緒に経験する自立生活プログラム（ILP）や季節や流行に合わせたイベントなどを実施しています。さらに制度や障害を持つ人の生活などを知ってもらう為、セミナーや勉強会を開催して一緒に勉強しています。こうした企画を通じて、誰かに頼って地域で生活させてもらうのではなく、障害を持つ「わたし」が主人公であること、自分らしい生活を組み立てることができることを知ってもらい、それを考える為の選択肢の一つとしてもらえるように…と考えています。

「ジョブサイトよど」さんとは、昨年度、淀川区の地域自立支援協議会を機にお話する機会が増え、今年7月に当センター企画の「えんじょいして生活する為に…～お金どうすんねん～」において、講師として副施設長の佐々木氏に施設内のご紹介も含めて就労継続支援B型や生活介護事業についてわかりやすく説明していただきました。また、昨年から毎月知的障害者部会を開催し、2ヶ月に1回参加機関の取り組みをまとめた「わくわくよどがわカレンダー」を発行。今年11月に当法人本部で行った「だんけふれあいフェスティバル」では、主任の田端氏を含めた知的障害者部会のメンバーと一緒にゲームコーナーとたこせんのブースを出しました。

これまで各法人で行ってきた地域での活動や取り組みが、法人の枠を越えて協力し合うことで大きな力が生まれる芽吹きを感じ取ることができました。誰もが自分らしく生活しやすい十三地域に、そして淀川区から大阪市、やがては国へと発展していけるように…こうして産まれた新芽をそれぞれの得意分野を生かして「連携」していくことで、じっくりと花へと育てていければと考えています。



高槻支援学校

進路担当 なか た ゆう こ 中 田 祐 子 さんより

高槻支援学校は、昭和41年に、府立で最初の知的障がい児を対象とする養護学校として設立されました。当初は小・中学部のみでしたが、昭和44年に高等部が設置され、小・中・高の一貫教育を目指す学校になりました。現在、本校には小学部81名、中学部90名、高等部152名の児童・生徒が通っています。生徒数は年々増え、その障がいも多様になってきています。自閉症、広汎性発達障がいなどの児童・生徒の占める割合も高く、個々の障がいや発達段階に応じた教育が求められるようになってきました。今本校では、入学時から指導の目標やねらいを設定し、卒業後の進路先でも活用できるよう、「個別の教育支援計画（移行支援計画）」を作成しています。また、高等部では、生徒の多様なニーズに応じたコース制の実施に向けて検討を重ね、準備を進めているところです。本人、保護者、地域の期待に応える学校作りをしていくことが本校の責務と考えています。

さて、卒業後の進路先として、北摂杉の子会にはこれまでに大変お世話になってきました。「ジョブサイトひむろ」、「ぶれいすBe」ともに、毎年10名を超える卒業生が進んでいます。また、高槻市の事業所だけではなく、「ジョブジョイントおおさか」や「アクトおおさか」にも利用や相談を希望する生徒、保護者が増えています。保護者が貴会に一番共鳴していることは「個別支援のシステム」です。見学会でも詳しい支援内容についてお話いただきましたが、一人ひとりのニーズに基づいたきめ細かな支援システムに、安心して子どもを任せられると期待しているのです。

しかし、毎年のように卒業生がお世話になり、定員を超えた利用になってきているということで、今後の利用が難しくなっているのが現状です。

希望するすべての生徒が事業利用できるよう、新しい施設の設立をお願いするとともに、学校での教育活動と施設利用後の支援の連携が必要だと考えています。学校としても、卒業後の行き先確保をお願いするだけでなく「在学中にしておくべきこと」と「施設利用後取り組んでほしいこと」についての話合いや、自閉症、発達障がい者支援についての教員対象の研修の実施など、多方面での連携ができればと考えています。

障がいのある人が普通に地域で生活していくため、学校と地域が一緒になって支援できるよう、今後ともよろしく願いいたします。

当法人自主製品レポート

当法人の作業活動における自主製品の3つの大きな柱は「ジョブサイトよどのコロッケ」「ぶれいす Be のガレット」「ジョブサイトひむろの陶芸製品」です。今回の機関誌では、これらの販売に関して記事を掲載しております。このコーナーでは「ジョブサイトひむろの陶芸製品使用店舗」についてレポートし、その後、「ぶれいす Be のガレット」販売状況のご報告、「ジョブサイトよどのコロッケ」の活動(この活動報告は業務貢献表彰活動の報告も兼ねています)を取り上げます。今後も随時、法人自主製品に関するレポートをお伝えする予定になっております。

●ジョブサイトひむろの陶芸製品使用店舗ご報告

陶芸製品の製造は株式会社FIELD土香様のご協力によりスタートいたしました。株式会社FIELD土香様は、単に陶芸製品を製造されているだけでなく、飲食店を総合プロデュースされている全国でも有名な企業です。商談の場所である今城文化民芸館には飲食店経営者が全国から訪れ、ジョブサイトひむろで制作した陶芸製品もそこで展示されており、職人さんが作ったものと同じように売られています。つまり、障害のある方が作ったということをセールスポイントにす

るのではなく、商品としての価値があるかという視点のみで評価されるのです。今回取材した店舗でも、障害のある方が作っていることを告げると、従業員の方々が一様に驚かれました。このことは、それだけ商品としての価値が高いと言える反応ではないでしょうか。

現在、ジョブサイトひむろで作られた陶芸製品が全国で約160もの店舗で使用されています。その中から、今回は大阪市内の2つの店舗についてご紹介いたします。

① 和匠肉料理 松屋 天王寺MIO(ミオ)店

住 所 大阪市天王寺区悲田院町10-39 JR天王寺駅ミオビル11F

営業時間 11:00~23:00

電 話 06-6770-1225

ホームページ <http://matsuya-gr.com/> (松屋 焼肉で検索)



平成23年2月のリニューアルを機に導入されたそうです。使用されているのは、焼肉に添える薬味や付け合せなどを入れる小皿。非常に高級感があり、おいしそうに見えて食が進むと好評とのこと。お皿の値段が高くなったのでは、と心配される常連さんもいらっしゃるほどです。

箕面店・藤井寺店もあるので、お近くに寄られた際はぜひお立ち寄りください。詳細は上記のホームページをご覧ください。

② 株式会社ユウ・フード・サービスグループ 炭火焼鳥と旨豚 まこ家

住 所 大阪市中央区難波3-3-7 ライズビル2F (最寄駅 地下鉄なんば駅)

営業時間 15:00~24:00

電 話 06-6632-3576

ホームページ <http://www.yuufood.net/makoya/>



2年前からグループ全店で使用。直営店だけで20以上あり、グループ全体では50店舗以上もあるそうです。高槻市内にはないようですが、阪急梅田駅近くの茶屋町に「鶏と豚と器がっちゃん」<http://www.yuufood.net/gatchan>「鶏豚きっちゃん」<http://www.yuufood.net/toriton/03.html>の2店舗ありますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

こちらも、醤油や薬味を入れる小皿として使用されており、手作り感があって温かみを感じると、お客さんの評判は上々とのこと。

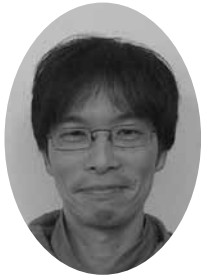
陶芸は「土ねり3年、ろくろ10年、焼き一生」と言われるくらい、長い年月をかけて技術を磨いていくもので、形が大きくなるにつれ、ひずみが出やすくなり、成形するのが困難になるらしいです。現状は「小鉢」を中心に制作していますが、今後は「吞水」（とんすい：お鍋の際に使用する取り皿）の制作を目標にし、最終的には難易度の高い「取り皿」まで作れるようになれば、さらに多くの店舗で利用される可能性が高まるそうです。

今回の取材にご協力いただいた、株式会社FIELD土香 代表取締役 安見様には、お忙しい中お時間を頂戴し、とても貴重なお話をたくさんお聞かせいただきました。この紙面を借りて御礼申し上げます。また、开店前の大切な仕込みのお時間にお邪魔して、ご迷惑をおかけしました 和匠肉料理 松屋 天王寺MIO（ミオ）店様、炭火焼鳥と旨豚 まこ家 様にも御礼申し上げます。

(機関誌編集担当：河辺)

「はっぴい・ふれいす Beガレット」

販売状況のご報告



高槻地域生活総合支援センター ふれいす Be

施設長 ^{しも}下 ^{ひろ}裕 ^{ゆき}幸

機関紙第45号（平成23年4月号）でもご報告しました通り、当法人の自主製品製造活動強化のパイロット事業として、株式会社テミル様が企画、運営する「テミル・プロジェクト」に参加し、新たな自主製品の開発を進め、今年3月より「はっぴいふれいす Beガレット」（以下、ガレット）の販売を開始しました。

※「テミル・プロジェクト」とは障害のある人が働いて得る収入（工賃）を高めていくことを目的に、パティシエ、絵本作家、福祉施設が協力して製品（スイーツ）の開発と製造、販売をおこなう取り組みです。

商品として販売当初は、単品（150円）、6枚セット（980円）、10枚セット（1,630円）の3種類での販売をおこなっていましたが、お中元やお歳暮等の贈答品として購入するにはもう少し価格設定の高い商品を揃えて欲しいとのご要望もあり、8月より20枚セット（3,260円）を新たに開発、販売を開始しています。

販路については、常設の販売先として、ふれいす Beでの店頭販売（Cafe Be）、インターネットでの販売（テミマ）の計2カ所で販売をおこなっていましたが、この2カ所以外に販路を確保し、より多くの皆様にガレットを知っていただくことと売上を伸ばしていくことが当初からの課題でありました。そのため、高槻市内を中心に、



テミフェス

ガレットを置いていただけの店舗を探していたのですが、この10月より阪急高槻市駅前にあります「お酒のデパート もりもと」（住所：高槻市北園



松坂屋銀座店 催事

町14-13 電話：072-682-0170)にて販売を開始いたしました。もりもと様ではガレット単品、6枚セット、10枚セットをお取り扱いいただいています。

同じく常設の販売先として当法人が運営している「よどのコロッケ」（住所：大阪市淀川区十三東2-10-10 電話：06-6306-4096）での販売も開始しています。こちらでもガレット単品、6枚セット、10枚セットを取り扱っています。

また、ガレットのパッケージイラストを手掛けた絵本作家の荒井良二さんのファンへの周知を目的に、何軒かの書店にガレットのチラシを置いていただいています。こちらは書店になりますので商品自体を置いていただくことはできませんが、後々の販売に繋がればと考えています。

店舗とは別に、各種イベント等での販売もおこなってきました。高槻市内外での催事や法人が関係した講演会等での販売、また、テミルプ

プロジェクトの取り組みとして百貨店での催事などもおこなってきました。催事についてはおれいすBeのご利用者や支援員だけでなく、他事業

所のご利用者やご家族、支援員にも協力をいただき実施してきました。以下は催事の一覧となります。

日 付	催事名・講演会名等	場 所
4月2日	自閉症啓発デー講演会	高槻現代劇場
5月7日	ママフェス2011	東京ビックサイト
8月17日	テミフェス	千葉県マザー牧場
9月11日	エアポートフェスティバル2011	大阪国際空港
10月5日～11日	テミルプロジェクト百貨店催事	松坂屋名古屋店
10月9日～10日	食の文化祭	高槻市民グラウンド等
10月12日～18日	テミルプロジェクト百貨店催事	ららぽーと横浜
10月15日	たかつきふれあい広場	高槻市役所周辺
10月19日～25日	テミルプロジェクト百貨店催事	松坂屋銀座店
10月26日	自閉症の人のバリアフリーを考える親の会はぐみ勉強会	高槻市ゆうあいセンター
10月31日	発達障がい児療育支援部合同公開講座	高槻現代劇場
11月2日～8日	テミルプロジェクト百貨店催事	浦和パルコ
11月16日～20日	テミルプロジェクト百貨店催事	大丸心齋橋店
11月30日	福祉・医療連携講演会	高槻現代劇場
12月1日	テミルプロジェクト百貨店催事	ららぽーと横浜

また、百貨店での催事については来年以降も以下の日程で開催が予定されています。

1月11日～17日 松坂屋銀座店 2月1日～14日 松坂屋上野店

2月29日～3月6日 松坂屋銀座店、日本橋三越本店

3月14日～20日 大丸梅田店 3月21日～27日 松坂屋上野店

ガレット販売当初、テミルプロジェクトで実際に商品販売をおこなっている事業所はおれいすBeとこむぎっこ（北海道：社会福祉法人はるにれの里）の2カ所だけでしたが、現時点ではモンステラ（奈良県：社会福祉法人以和貴会）、ラ・バルカ（愛知県：社会福祉法人豊生ら・ばるか）、地域作業所hana（千葉県：NPO法人コミュニティワークス）の合計5カ所で商品の製造と販売をおこなっています。これら他法人の商品を含めて上記の百貨店催事で販売をしています。また、インターネット（テミマ）での取り扱いも現在準備を進めているところです。

おかげ様で多くの皆様にご購入いただいているガレットですが、「テミル・プロジェクト」の目的であるご利用者の工賃を高めるまでにはまだまだ至っていません。そのため、今後も安定した品質と製造体制を維持していくとともに、多くの皆様へガレットを知っていただくこと、売上を伸ばすためにも新たな販路の確保が必要だと考えています。

株式会社テミル様やこのプロジェクトに参加している各法人の皆様と協力しながらこれからもこの取り組みを進めていきますので、引き続き応援いただけますと幸いです。



大丸心齋橋店 催事



大丸心齋橋店での販売風景



『よどのコロッケ』を地域へ発信！ そして、ご利用者が主役の仕事作り



ジョブサイトよど

主任 田 ^た ^{ばた} 端 たまみ

1. はじめに

「よどのコロッケ」の製造・販売拠点である「ジョブサイトよど」は、自閉性障害のある成人期の人たちの日中活動支援事業所として、平成18年4月に開設いたしました。

開設当初より、ご利用者の生産活動の一つとして、調理作業を検討していましたが、有機野菜を食材としたランチの製造・販売というビジネスの立ち上げを計画しておられた女性企業家と出会い、その事業を支援されているコンサルタントの方とも連携して、ランチ作りの試みが始まりました。

そのランチ事業を進めるにあたり、平成18年度、厚労省障害保健福祉推進事業「実業を通じた自立型福祉施設の就労支援力強化に関する研究」及び平成19年度の「自閉症・発達障害者のスキル&モチベーションを高めるOJT/off-JTおよび管理法の開発」の研究事業に基づき、ランチ調理作業を通して、自閉性障害のある人たちの強みを活かした調理作業の内容や作業工程管理、モチベーションの向上のための支援のあり方等について検討を重ねてきました。



外部販売風景

平成20年度から、その研究実践で得られた知見に基づいて、「一口サイズの

コロッケ」の製品化を進めることになりました。ジョブサイトよど家族会への内部販売から開始し、一般飲食店舗への卸売りへと実績を積み上げ、翌平成21年夏には十三地区に直売店をオープンしました。

事業のコンセプトは、「自閉症・発達障害のある人たちの特性である丁寧さを活かす」「付加価値の高い商品開発」「スキル・モチベーションの向上」で、それに基づいた事業理念は以下の3つです。

- I 自閉症・発達障害のある方々が、主体的にいきいきと取り組める質が高く新しい仕事を目指す。
- II 高付加価値の自主製品製造作業とし、地域で暮らせるためのベースにする。
- III 地域の中で自閉症・発達障害のある方々の活動の情報発信や、地域とのつながりを形成する。

今回は事業理念Ⅲについての具体的な取り組みを報告させていただきます。

2. 取り組みの経過

地域の方々への情報発信の1つとして、「よどのコロッケかわら版」を発行しました。(よどのかわら版参照) そこには、地域の方に「よどのコロッケ」という店舗があり、美味しいコロッケを販売している事、そして「よどのコロッケ」は自閉症や発達障害のある人たちが通ってくる施設の厨房で作っていることや、

地域での訪問販売をしている事などを載せています。また、ジョブサイトよどでのコロッケ製造以外の活動内容（陶芸など）も載せました。作成した「よどのコロッケかわら版」はお店でお客さんに配布したり、ご利用者がポスティングして地域の方々へアピールしたり、訪問販売、外部販売の際にも配布しています。

地域への販売としては、「よどのコロッケ」の店舗に障害のある生徒さんが職場体験実習に来られたりする地域の中学校への訪問販売を定期的に行っています。その他にも、地域での販売に力を入れており、イベントなどにも積極的に出かけてさらなる販路の拡大を目指し、チャンスがあればどこへでも出向き出張販売しています。(表1参照)

このように、地域の中で自閉症・発達障害のある方々の活動の情報発信や、地域とのつながりを形成するために、様々な広報活動を繰り返してきました。

よどのコロッケ

大阪府大阪市淀川区十三東2-10-10

営業時間 11:00~18:30 (土・日・祝定休)

※14:00~15:00 休憩

表1

法人内	an/自閉症支援センター 保護者会研修会	その他研修会	カフェBe コンサート
	カフェBe ありがとうまつり		
地域	十三中学校	十三小学校	西淀川特別支援学校
	健志整骨院前販売	十三市	
居酒屋	キッチンバー グローブ	酒房 謙ちゃん	やきとり ちんどん
	居酒屋 虎武士	居酒屋 酒蔵	
福祉法人	レストラン「ハーブクラブ」	デリカテッセン「イーハトーヴ」	豊中のぞみ園
	豊中市立みのり園	みずほ園	おおぞら園
	NAGOMI	第二みらい	
学園祭	近畿情報専修高等学校	星槎国際高等学校	大阪成蹊大学
企業	日本生命新大阪営業所	野村工芸社	豊中市職員組合
イベント	高槻ふれあいまつり	よどがわ河川敷フェスティバル	食の文化祭「高槻ジャズとグルメフェア」
	伊丹空港空の日イベント	ミディマルシェ(定期・夕涼み・クリスマス)	淀川区福祉のお仕事フェア
	平成淀川花火大会	西区社会福祉協議会講演会	西区そよかぜ祭り

3. 成果

このような活動の成果として、月額平均売り上げと販売個数がともに30%増になり、(グラフ1・2参照)それに伴い、色々な形でご利用者の仕事が増えていきました。例えば、販売接客、店舗清掃、コロッケ配達、「よどのコロッケかわら版」制作、ポスティング、伝票データ入力など多種多様な仕事で、これらは、就労継続支援B型の方にとどまらず、生活介護のご利用者でも積極的に参加できるものです。このように、ご利用者の個々の強みを活かし、多くの方が仕事に関わる事ができた件は大きな成果と言えます。

このことにより、ご利用者がうまく仕事に取り組むために個別に配慮した工夫を行ったり、ご利用者の作業の評価などを行い、コロッケ事業を推進するために支援員間の連携も生まれました。ご利用者の工賃も「よどのコロッケ」に関わる仕事をした人すべてに、コロッケの売り上げから還元できるようになりました。

何よりもご利用者がコロッケの仕事に携わることで、自分の仕事なんだと自信をもって生き生きと取り組んでいます。みなさんが喜んでいる様子が支援員の励みになっていることは間違いありません。「よどのコロッケ」は、各種メディアでも取り上げられ、それが売り上げの向上につながり、ご利用者・支援員ともにさらなるモチベーションアップにもつながっています。(表2参照)

4. 今後に向けて

今後、売り上げをさらに上げていくことによって、コロッケの製造量をアップさせ、ご利用者がますます生き生きと活躍していただける場を提供したいと考えております。

課題としては、このプロジェクトの重要な柱である「工賃倍増」の実現に向けて、着実に成果があげられるように推進していきたいと思っております。そのためには、支援員みんなが「工賃倍増」の意識を持ち、どのような支援や仕組みが必要なのかを考え、福祉の世界にとどまらず、様々な観点から自己研鑽を行い、

コロッケの売り上げアップにつなげられるよう一丸となってさらに頑張りたいと思います。

いつまでも地域に愛される「よどのコロッケ」であり続けることを大切にしながら、これらのことを推し進めていきます。

表2 これまでに「よどのコロッケ」が紹介されたもの

掲載日・発行日	紹介された掲載物
平成22年6月29日	淀川区Walkerに掲載
平成22年7月号	月刊「実践障害児教育」に株式会社インサイト 代表取締役 関原 深 氏がよどのコロッケに関する内容を執筆
平成22年7月11日	大阪日日新聞に掲載
平成22年9月30日	毎日新聞に掲載
平成23年5月26日	「TEACCHによる成人期自閉症者への支援」の書籍に「発達障害・自閉症の特性を生かしたコロッケづくり」でジョブサイトよど 田端たまみ主任が実践報告
平成24年1月20日 予定	よどのコロッケのご利用者の様子がNHKの番組『きらっと生きる』にて放映

* 上記以外にも地域のミニコミ誌（「ザ、淀川」、「淀川散歩」など）にも掲載されました。



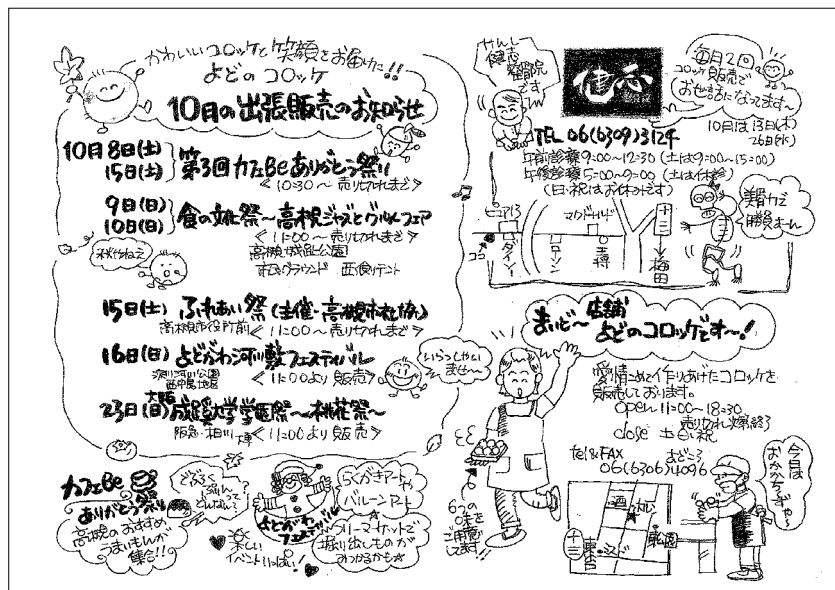
十三中学校にて販売



コロッケ店舗へ配達



店舗清掃の様子



よどのコロッケかわら版



発達障害のある学生のための 就労支援セミナー開催のご報告

ジョブジョイントおおさか

副施設長 ^{たか} ^{はし} ^{あき} ^こ
高橋 亜希子

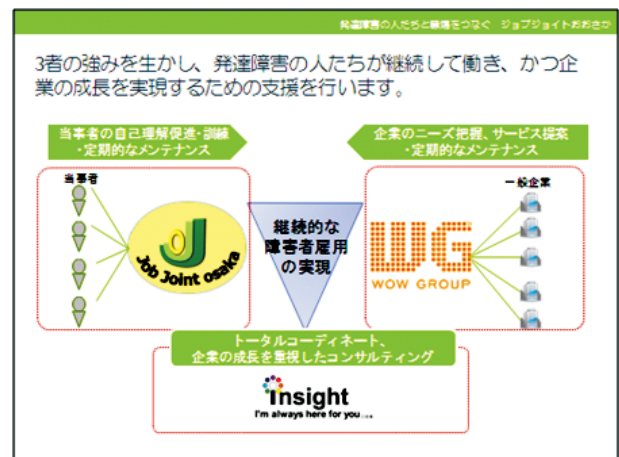
平成23年12月1日、大阪市総合生涯学習センターにおいて、大学機関を対象とする「発達障害のある学生のための就労支援」セミナーを法人主催でジョブジョイントおおさかが中心となり開催いたしました。

このセミナーの実施までの経緯は以下の通りです。ジョブジョイントおおさかをご利用されている方の中には、大学卒業後あるいは途中でジョブジョイントおおさかを利用された方も少なくありません。また、最近では、大学在学中の方からの利用希望ニーズも出てきています。社会的にも不況の中、一般高校やサポートのある私立高校に通われている発達障害のある人たちが、高校卒業と同時に就職するケースは稀となり、大学などの高等教育機関に進学されるケースが増えてきています。大学側も、少子化の問題から多様な学生を受け入れており、その中に発達障害のある学生も多いと考えられます。今回のセミナーは、大学機関にジョブジョイントおおさかを知っていただき、卒業後の進路として、あるいは在学中から大学と連携し、発達障害のある学生を支えていくしくみを検討したいと思ったことがきっかけで、実施することとなりました。

セミナーのご案内を兵庫・大阪・京都の全大学・短大に送付させていただいたところ、20の大学・短大からご参加をいただき、会場定員いっぱいとなりました。支援機関やご家族からのご希望もありましたが、全てにはお応えできず、お断りをさせていただいた程の反響でした。紙面を借りてお詫び申し上げます。

セミナーでは、当法人スーパーバイザー中山清司氏より「発達障害の特性と進路の支援」、アクトおおさか小泉美穂主任より「学生の相談支援状況」をご説明させていただきました。そして、株式会社 WOWGROUP 上前様・島本様、株式会社 インサイト 窪様と共に、日頃から定期開催している発達障害のある人の雇用促進のための研究会で検討している「3者連携」について、それぞれの立場からご報告いただきました。「3者連携」は、(下記図参照) 3者のもつそれぞれの強みを生かして、発達障害のある人たちが就労を継続させ、なおかつ企業の成長を実現するためのサポートを行うということを目的としています。

今回のセミナーで大学の教育現場での現状を直接伺うことができ、今後発達障害のある学生の所属する大学をサポートするための支援ネットワークの構築や、新しいサービスや事業の可能性が見えたことが大きな収穫となりました。今後、ジョブジョイントおおさかは大学のサポートを中心にした発達障害のある人の就労支援に力を入れていきたいと思っております。



「支援の質の磨き上げ」を目指して 将来を見据えた具体的な支援を考えていく 「生活習慣病予防プログラムの取り組み」より



ジョブサイトひむろ

副施設長 もり 森 た 田 こう 耕 へい 平

この取り組みは、現在はジョブサイトひむろを中心に取り組んでいることではありますが、今後ご利用者に関わる支援者全員と連携し、継続して取り組んでいく必要性があることだと感じています。また、スタートしたばかりではありますが、ご紹介させていただきたいと思います。

ジョブサイトひむろは、「生活介護事業」「就労移行支援事業」「就労継続支援B型事業」の3事業を提供している多機能型事業所です。現在、地域からのご利用者64名（萩の杜のご利用者と合わせて84名）が所属されています。開設以来、「地域に生きる」の理念のもと、どれだけ重い障がいのある方でも、住み慣れた地域の中で、その人らしくいきいきと、「働くこと」「生活すること」「余暇を楽しむこと」を包括的に支援することと、ご利用者お一人おひとりに合わせた「個別支援」を展開することを支援方針としています。

今年度の法人の年度方針の中で、「ご利用者の高齢化とそれに伴う障がいの重度化への対応」、「余暇支援、健康支援体制の充実」を掲げていますが、今春、開設10年目を迎えたジョブサイトひむろでも、ここ数年、それらの課題への対応の必要性を強く感じていました。

これまでも余暇的な運動は、個別のニーズに応じて取り入れてきましたが、今年度は、将来的に生活習慣病のリスクの高いご利用者に対し、より個別性を重視した取り組みを始めました。取り組みを始めるに際し、おれいすBeの作業療法士に助言をもらい、厚生労働省の※「健康づくりのための運動指針 2006」を参考に、具体的な目標（体重、腹囲の減少、

BMIを24以下に）や指標（週23エクササイズの活発な身体活動、4エクササイズの活発な運動）を設定しました。また、「4エクササイズの活発な運動」として、陸上での運動と比べ、より強い身体活動が得られること、そして何よりも、ご利用者が楽しんで継続して取り組めるという理由でプール活動を選択しました。

①「メッツ」(強さの単位)

身体活動の強さが、安静時の何倍に相当するかを表す単位で、座って安静にしている状態が1メッツ、普通歩行が3メッツに相当します。

②「エクササイズ(Ex)」(=メッツ×時) (量の単位)

身体活動の量を表す単位で、身体活動の強度(メッツ)に身体活動の実施時間(時)をかけたものです。より強い身体活動ほど短い時間で1エクササイズとなります。

(例) 3メッツの身体活動を1時間行った場合

$3\text{メッツ} \times 1\text{時間} = 3\text{エクササイズ} (\text{メッツ} \times \text{時})$

6メッツの身体活動を30分行った場合

$6\text{メッツ} \times 1/2\text{時間} = 3\text{エクササイズ} (\text{メッツ} \times \text{時})$

目標は、

週23エクササイズ(メッツ×時)の活発な身体活動(運動・生活活動)!

そのうち4エクササイズは活発な運動を!

※(「健康づくりのための運動指針2006」より抜粋)

メンバーについては、定期健診の結果から、
※BMIが上昇し、将来的に生活習慣病のリスク
が高いご利用者や、医療的な配慮が必要なご
利用者を看護師が選定し、各グループで検討
後、保護者様の同意を得て決定しました。看
護師は、実施当日の参加者の体調管理や、毎
月の進捗状況の確認にも携わっています。ま
た、リスクマネジメント体制も見直し（ひや
りはっと、事故報告書の様式変更、リスクマ
ネジメント委員会の立ち上げ）、ご利用者はも
ちろんですが、支援者も安心、安全に取り組
める体制を整え、現在8名のご利用者が、週に
1度、約1時間の水中運動に取り組まれています。

※Body Mass Index (ボディ・マス・インデックス) の
略で、身長と体重から求める国際的な体格の判定方法
(計算方法)

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)



ラポール枚方温水プールにて

今までの余暇的な運動との決定的な違いは、
数値目標を支援計画の中に盛り込んで、取り
組んでいることです。よくダイエット中の人
が、記録をとるだけで痩せたという話を聞き
ますが、障がいのある方に数値を意識して
いただくことは容易なことではありません。代
わりに担当支援員が記録をとり、数値を意識
し（運動量を管理しながら目標数値と見比べ）
ながら取り組んでいるのです。

先ほどあげたプール活動だけでは補えない
ため、毎日の日課の中でいかに運動を取り入
れるかということも大切になってきていま
す。活動量計を使用して運動量を測ってみた
ところ、日常活動の中での運動量は、思った

以上に少なく、意
識的に取り入れな
いといけないとい
うことははっきり
しています。その
ため、特に必要な
ご利用者は、それ
ぞれに合わせた方
法で毎日の日課
の中にも運動を取り
入れています。具
体的には、毎日



ウォーキングマシン

朝、昼、帰る前に20分ウォーキングマシンの
運動を取り入れている方、また今年始めた取
り組み（トランポリン）に参加して1時間有効
的に汗を流す方、毎日散歩に出る方、各グル
ープの食器運びを役割としている方、とにか
くちょっとしたことでも身体を意識的に動か
すことで少しでもエクササイズ値をあげてい
き、結果につなげることが目標となっています。

目に見えた成果はこれからだと思いますが、
維持することができたこと、また何より活動
が増えたことで健康で生き活きとした日中活
動を送ることができるようになりました。

今後、より具体的な成果を出していくため
に運動の継続、食事の管理、そのために医療
との連携、またその他関係者と連携しながら、
取り組んでいくことが必要であると感じてい
ます。結果を出すことで、支援者のモチベー
ションを保ち、チーム一丸となって取り組む
ことができると思います。

このように具体的な目標を立てて、将来を
見据えた支援の一つひとつ丁寧に取り組んで
いくということが、「支援の質の磨き上げ」に
つながっていると感じています。

今年の取り組みをベースに発展させ、一定
の支援の道筋ができれば、将来的に生活習慣
病のリスクを予防できる方法を提案してい
くことができると信じ、今後も支援し続け
ていきたいと思っています。

「ノースカロライナ州での研修報告」

～ ノースカロライナ大学チャペルヒル校 TEACCH 部における 自閉症スペクトラムの人たちへの就労支援 ～ **その4** (最終回)



ジョブジョイントおおさか

副施設長 ^{たか} ^{はし} ^{あき} ^こ
高橋 亜希子

ノースカロライナ州ノースカロライナ大学 TEACCH 部での研修報告も最終回となりました。最終回は、何をテーマに報告をさせていただこうかいろいろ考えてみましたが、TTAPを含む就労準備支援について報告したいと思います。

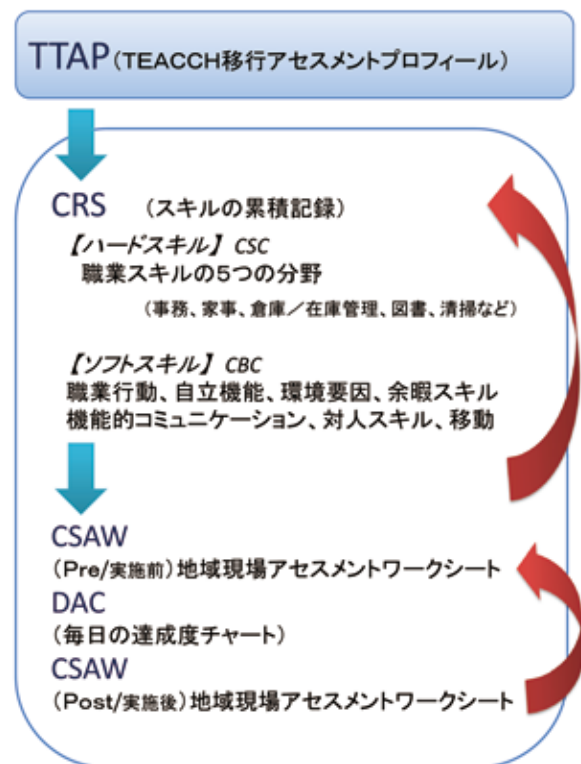
TTAPは、「TEACCH移行アセスメントプロフィール」といい、TEACCH部が開発した青年期から成人期への移行のためのアセスメントプロフィールです。青年期の自閉症の人が成人生活を想定し地域で働き、暮らしていくための可能性と強みを、職業スキル、自立機能、職業行動、機能的コミュニケーション、余暇スキル、対人行動の6つの側面から探り、具体的な支援目標へと導くためのものです。いわば、このTTAPを行うことが、成人期に向けた職業教育のはじめの一步となります。

自閉症スペクトラムの人への支援にとって、アセスメントつまり「評価」は非常に重要で、その人の正しい姿を把握することから始まります。それは、新しいご利用者を受け入れる際のプロセス（過程）に行っていることだと思いますが、ご本人・ご家族からの聴き取りや支援機関からの情報収集、また客観的な検査やテストの結果などを参照すること、そして実際に作業や課題をしてもらったの観察から支援計画を立案するというのが一般的な流れだと思いますが、この初期アセスメントにTTAPを実施することも有効であると考えています。

TTAPのノースカロライナ州での使われ

方は、職業教育のスタートする13～15歳くらいにTTAPを行い、その後は、地域でのインフォーマルアセスメント（つまり実際に地域の職場での実習）を繰り返し行っていきながら、就労へのステップを踏み、その人にあった就労を目指していくというのが、スタンダード（標準的）なプロセスです。（図参照）

ここでノースカロライナ州を含むアメリカの職業教育と、日本の制度の違いがでてくるのですが、アメリカの場合、職業教育は「教育」サイドの責任であり、職業教育を行わなければならないことがIDEA法（個別障害児教育法）という法律で定められています。通常20～23歳位（州によっては26歳）までは、



職業教育の範囲となっています。

日本の場合とはいうと、自閉症や発達障害を含め障害のある人たちへの職業教育のスタートが遅く、学齢期の後半になってもアカデミックな学習が主体で、高校2年生くらいになって職業や作業の単元が始まります。そして、地域での実習というの、1つの職場で3日~1週間であったり、福祉施設への実習だったりします。そして、「福祉」サイドにおいて、職業教育ではなく「就労支援」を行うというのが日本の現状であると思います。

子どもから大人になる過程において、「働く」ということの意識や、「自立して」という観点を強く感じたことは言うまでもありません。

この成人期への移行のプロセスのインフォーマルアセスメント（非標準化評価）の中で当たり前によく取り組まれていたのが、地域資源を活用しての「ボランティアワーク」でした。日本でいうと、実習やインターン（実地修練）という言葉になるでしょうか。実習でも「体験のための実習」と「雇用を前提とした実習」の目的の違いがあるように、地域の中で働く基礎訓練の位置づけが、「ボランティアワーク」なのです。

サポートトエンプロイメントプログラムでの研修の初日に、ジョブコーチ（支援者）とクライアント（ご利用者）に同行して、レンタルビデオ屋さんの清掃行ったのですが、いきなりそれが「ボランティアワーク」でした。クライアントのDさんは、毎週火曜日の午前10時に、ジョブコーチと一緒にビデオ屋さんへ出かけ、店内の清掃を40分くらいかけてします。その間、ジョブコーチは距離をとってできているかどうかを見ていました。特にDさんは「見られている」と思うと緊張してイライラしてしまうため、ビデオの並ぶ棚越しに見てね、とジョブコーチに言われました。そして、掃除が終わるとDさんは、お楽しみビデオパッケージ鑑賞の時間です。Dさんは、アニメやキャラクターが大好きで、その



地域で仕事をする際のリマインダー

興味関心のあるビデオ屋さんの清掃を始めたそうです。やるべきことが終わった後は、20分ほど好きにみていい時間という設定をされていました。スケジュールでも決まっていたので、見終わったら自分で出てくるとのこと、ジョブコーチと私はパーキングでお話をしながら待っていました。ビデオ屋さんの店員さんも平然としていました。

他には、教会の清掃やほかの雑務、図書館の仕事、公的機関の事務補助、農作業の手伝いに至るまでありました。いろんな働き方を見せてほしいと思っていたので、職場を訪問する度に、勤務時間やお給料はどれくらいなのか、この人は働いて何年になるかなど定番の質問をその職場職場でジョブコーチにしていたのですが「えっ!?これもボランティアワーク」と、何度も驚いてしまいました。それだけボランティアワークという言葉が当たり前であり、当たり前に行われていることに「これだ!」と思いました。

このさまざまな職種や環境でのボランティアワークを、13歳位から始めていくのですが、その時間と回数にも驚きです。通常1つの職場で3~4週間で、それを年に3~4回行うのです。その職場や環境ごとに、先生あるいはジョブコーチはアセスメントをして、その人のハードスキルである職業スキルの評価情報と、ソフトスキルの部分である職業行動や自立機能、コミュニケーション、余暇、環境、移動の側面のアセスメント情報を集めていき、その人のアセスメントのまとめが引き継がれるよう

になっています。(図 CRS)

そのアセスメントのまとめから、次の目標や課題となる項目を事前に設定するのが、実施前の地域現場でのアセスメントシート(CSAW/Pre)で、実際の実習中に記録をするアセスメントシートが毎日の記録(DAC)、そして実施後の地域現場でのアセスメントシート(CSAW/Post)というように、実習を繰り返して、就労への課題を絞り組んでいくしくみになっています。

地域の実際の職場で実習を繰り返し行っていくことが自閉症スペクトラムの人の自信になることはもちろん、社会の中で必要なソフトスキルも培われていき、そして、その人に適したジョブマッチングも可能になることが実証されているようでした。このボランティアワークの概念は、本当に衝撃を受け、日本でもぜひやりたい!と思ったことの一つでした。

そして、当法人のジョブジョイントおおさかで始めた就労への支援も、日本流の職業教育をリカバーするような位置づけだと考えていて、成人期に想定される地域生活への移行と就労に向けての専門学校的な役目を果たしたいと思っています。また、ボランティアワークのように、まだまだ長期で何度も実施はできていませんが、その機会をつくる取り組みとして「ワーク+サービス」を始めました。「ワーク+サービス」は、実際に会社や事業所からのオーダーをいただいて、ジョブコーチとご利用者3名程度で職場に出向き仕事をするジョブジョイントおおさかのオリジナルサービスです。(法人ホームページにも掲載しておりますのでご参照ください) まだ、現在は法

人内や関係機関、事業所からの発注が中心ですが、実績を積むことができ始めています。

「ワーク+サービス」を活用することで、ご利用者にとってはさまざまな仕事の体験と地域で必要とされるソフトスキルの実践の場となりますし、企業にとっては地域の中で自閉症スペクトラムの人がいるということとその理解、または障害者雇用のイメージにもつながると考えています。そして、私たちは、実際の地域現場でのアセスメントを行い、具体的な課題に対して構造化のアイデアや工夫を考え、またご本人自身が自分で対策や予防法を考えられるような支援を促していきたいと思っています。

最後になりますが、私がTEACC部サポートエンプロイメントプログラムで学んだことを私なりに消化し、実践することが少しできたかなという段階かと思いますが、今後もいつも創造し、就労への支援を行っていきたいと思います。

4回にわたる報告はこれで終了とさせていただきます。ありがとうございました。



ボランティアワークの現場 グリーンズボロの公立図書館

北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成23年9月～11月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	an新聞・will新聞・Link新聞掲載
	発達障がい児療育支援部 合同公開講座ご報告
	平成23年度相談支援充実強化事業 啓発講座 ～大人の発達障害～ なるほど！そういうことか
	ジョブジョイントおおさか 障害者就労(雇用)のお試しサービス開始
	アクトおおさか情報更新
松上利男の一言	第50回 大阪府発達障がい療育等支援事業の継続・発展を願って
	第51回 制度の活用と支援サービスの創造
お知らせ	『発達障害学生の就労支援』セミナー開催
	工賃倍増プロジェクトpasso(ぱっそ)42号に「よどのコロッケ」が掲載
	療育OB向け療育相談のご案内
	「はっぴいぶれいすBeガレット」を大丸心斎橋店にて催事販売
	『大阪府発達障がい療育等支援事業』継続と機能強化のための要望書を大阪府橋下徹知事に提出
	「医務だより」秋号が発行
	食の文化祭実行委員会主催イベント「食の文化祭 高槻ジャズとグルメフェア」にて、ぶれいすBeのガレットを販売
	共同募金施設整備費配分金事業完了のお知らせ
イベント・講座案内	アクトおおさか10周年記念して 発達障害セミナー「発達障がい者支援の今後に向けて」開催
機 関 誌	46号掲載
	47号掲載
よどのコロッケ	各イベントでの出張販売のお知らせ
	クリスマスパーティーセット販売のお知らせ
Café Be	第3回 ありがとう祭り
	イベント情報更新
	ランチメニュー更新

掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 23 年 9 月から平成 23 年 11 月まで)

法人本部総務部掲示板

- | | |
|--|---|
| <p>9月 5日 経営会議
第75回理事会
会場 法人本部 2階会議室
決議事項
第1号議案 新ケアホーム資金計画の件
第2号議案 新ケアホーム新築建設工事
予定価格の件
第3号議案 独立行政法人福祉医療機構
からの借入の件</p> <p>10日 福祉就職フェア参加
会場 高槻市総合センター 展示室</p> <p>20日 ケアホーム入札
会場 高槻現代劇場 集会室306号室</p> <p>21日 自閉症啓発デー会議</p> <p>27日 総務会議
災害対策の件
送迎手当の件</p> <p>28日 第76回理事会
会場 法人本部 2階会議室
決議事項
第1号議案 新ケアホーム新築工事請負
契約の件</p> <p>29日 運営会議
人事の件
経営リスク管理の件
災害時の対応の件</p> <p>30日 自閉症啓発デー会議</p> <p>10月 5日 新ケアホーム起工式</p> | <p>26日 ケアホーム説明会
会場 高槻現代劇場 集会室306号室
総務会議
年末調整の件
職員健診の件</p> <p>28日 運営会議
療育支援事業の件
高槻市障害者虐待防止研修会の件</p> <p>11月 6日 第77回理事会・第42回評議員会
会場 生涯学習センター 研修室
決議事項
第1号議案 送迎手当支給に伴う規則、
規程の一部改定の件
第2号議案 新ケアホーム資金計画の件
第3号議案 独立行政法人福祉医療機構
からの借入の件
第4号議案 補正予算(案)</p> <p>7日 経営会議</p> <p>12日 第3回法人研修
会場 高槻現代劇場 集会室305号
全体研修 『災害時における社会福祉施設
の対応について』
～阪神大震災・東日本大震災から学ぶべきもの～
兵庫県知的障害者施設協会会長 蓬莱和裕氏
分科会1 「対人援助の基本 共感的態度」
(初任者)
講師 発達障害支援部
新澤 部長
発達障害児療育支援部
谷岡 部長
分科会2 「コミュニケーションについて」
(中堅)
講師 ふれいすBe 下施設長
分科会3 「コミュニケーションについて」
(役職者)
講師 萩の杜 勝部 施設長
萩の杜 木戸 副施設長</p> <p>19日 平成24年度採用筆記試験
会場 高槻現代劇場 展示室</p> |
|--|---|



起工式



「福祉・医療連携」講演会(真野先生)

- 21日 総務会議
有給残日数の件
労災の件
- 22日 自閉症啓発デー会議
- 24・25日 平成24年度採用一次面接
会場 法人本部 2階会議室
- 25日 運営会議
平成24年採用の件

- 人事考課の件
- 30日 「福祉・医療連携」講演会
会場 高槻現代劇場 集会室305号室
『地域の生活を支える医療と福祉の連携
-これからのカタチ』
講師：真野利之先生（医師）
(佐々木寛 記)

萩の杜 掲示板

【9～11月】

萩の杜では5～6月及び9～11月の気候の良い時期に、

2～8名の小グループでの日帰り旅行を実施しています。
今期間の旅行写真を掲示いたします。



9月14日：六甲牧場



10月11日：雄琴温泉



10月25日：広島



11月11日：琵琶湖



11月11日：フルーツフラワーパーク



11月25日：布引ハーブ園



11月25日：花鳥園

【萩の杜日中活動支援センター ふれっと作品展のお知らせ】

昨年度ご好評いただきました『ふれっと作品展』を下記の日程で開催いたします。
毎年5月上旬に芥川桜堤公園で開催されています“このほりフェスタ”用の手作り鯉のぼり等、ご利用者の方の力作を展示いたします。みなさま是非足をお運びください！

日時：2012年1月21日（土）9：00～12：00
場所：萩の杜日中活動支援センター ふれっと
大阪府高槻市大字萩谷14番地1
問い合わせ先：(072) 699-0099
担当：タケウチ（平日8：45～17：30）

※ご来場いただいた方には、特製“紙すきコースター”をもれなくプレゼント♪

※駐車場の台数に限りがあります。お車でお越しの際には、萩谷総合公園駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。



昨年度のふれっと作品展の様子

(勝部 記)

ジョブサイトひむろ 掲示板

- 9月
- 1・15・20日 トランポリン（芝生体育館）
- 2・9・16日 音楽療法（にこにこ保育園）
- 5・13・27日 エアロビクス（ゆうあいセンター）

- 7日 陶芸レクリエーション（伊丹空港）
- 8日 そうぞう1グループレクリエーション（アクトバル宇治）

9・14・22・26・28日	プール (ラポール枚方)	Beにてランチ)
16日	ジョブサイトひむろ会議 平成23年度事業計画の振り返り、リスクマネジメント等について	見学者 2組6名 実習生 3組4日間 体験実習 1組2日間 その他来訪者 41名
19日	祝日開所 就労レクリエーション (ジャンボカラオケ高槻店)	11月
21日	台風の影響で休所	2・10・16・24日
23日	祝日開所 就労レクリエーション (イモ掘り: 浦堂)	トランポリン (芝生体育館)
30日	ジョブサイトひむろ旅行	3日 祝日開所 就労レクリエーション (ジャンボカラオケ高槻店)
	1 神戸観光 (神戸港、神戸市内) 2 ユニバーサルスタジオジャパン 3 近江方面 (ミシガン乗船等) 4 白浜アドベンチャーワールド 5 名古屋港水族館	4・11・18・25日 音楽療法 (にこにこ保育園)
	見学者 1組3名 実習生 2組3日間 その他来訪者 16名	4・7・11・17・18・28・30日 プール (ラポール枚方)
10月 4日	そうぞう3グループレクリエーション (山田池公園)	7日 避難誘導訓練
5・6・13・14・21・24・27・31日	プール (ラポール枚方)	8・9・14日 エアロビクス (ゆうあいセンター)
7・14・21・28日	音楽療法 (にこにこ保育園)	10日 陶芸レクリエーション (ひらかたパーク)
10日	祝日開所 就労レクリエーション (オーガニックキッチン昼食、五月山公園)	15日 そうぞう2グループレクリエーション (交通科学博物館)
11・17・25日	エアロビクス (ゆうあいセンター)	16日 洗濯グループレクリエーション (カフェBeにてランチ)
12日	陶芸レクリエーション (京都 新京極)	17日 療育グループレクリエーション (ガーデンミュージアム比叡)
13・20・26日	トランポリン (芝生体育館)	18日 ジョブサイトひむろ会議 平成23年度補正予算、新ケアホーム予定、勤怠管理等について
21日	ジョブサイトひむろ会議 各種会議報告	21日 折りコンレクリエーション (ステーキのどん、京都長岡天満宮)
24日	療育レクリエーション (インスタントラーメン発明記念館)	23日 祝日開所 就労グループレクリエーション (ひらかたパーク)
25日	ジョブサイトひむろ職員勉強会 講師: 津堅支援員 ケース会議の持ち方について	29日 洗濯グループレクリエーション (カフェBeにてランチ)
27日	そうぞう4グループレクリエーション (服部緑地公園)	30日 そうぞう4グループレクリエーション (鶴見緑地公園)
28日	折りコングループレクリエーション (カフェ	見学者 1組1名 実習生 2名2日間 体験実習生 5名7日間 その他の来訪者 24名

(平野 記)

発達障害支援部掲示板

○大阪自閉症支援センター

保護者研修 フォローアップ講座 9月29日 10月27日
視覚支援グッズ作り講座 9月15日
自立課題講座 11月17日
思春期講座 11月25日

和泉市教育委員会

テーマ別研修Ⅱ「自立課題」 10月18日 11月15日
テーマ別研修Ⅱ「スケジュールワークシステム」 11月1日
巡回相談 (小学校9月13日 10月18日 11月15日
幼稚園11月1日)

高槻市教育委員会

巡回相談 (小学校9月16日 9月21日 中学校9月14日 11月25日)

摂津市教育委員会

巡回相談 (幼稚園9月30日、11月18日)

泉大津市教育委員会

巡回相談 (小学校11月29日)

豊能町教育委員会

巡回相談 (認定こども園11月4日)

講師派遣

大阪府自立相談支援センター 高井田苑 大阪府中央子ども家庭センター
青い鳥工房② 大阪府豊中保健所 大阪府教育センター パーソナルサポートセンター
大阪自閉症支援センターを発展させる会オアシス 大阪府東大阪こども家庭センター

○アクトおおさか

9月2日 施設コンサルテーション (泉州中障がい者就業・生活支援センター訪問)
5日 十三地区等管理職会議
7日 大阪府第4次障がい福祉計画検討委員会
施設コンサルテーション (地域活動支援センター業の花訪問)
8日 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会
こども部会

- | | | | |
|--------|---|---------|--|
| 9日 | アクトおおさか4回連続講座 第3回
「支援方法について—本人支援と家族支援」
施設コンサルテーション
(泉州中障がい者就業・生活支援センター実地研修)
就労準備ガイダンス 第6回実施 | 19日 | 地域支援体制サポート事業 (支援センター
カーな訪問) |
| 12日 | 福祉教育連携事業リーディングスタッフ養成
研修 泉北地区 | 31日 | 大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会
出席
成人期家族グループ上期 第4回
地域支援体制サポート事業 (熊取療育園実地研修) |
| 13日 | 施設コンサルテーション
(地域活動支援センター陽だまり実地研修) | 11月4~5日 | 秩父学園発達障がい者支援センター職員研修
会参加 |
| 14日 | 成人期家族学習会「発達障害と医療」
講師 郭麗月先生(桃山学院大学教授、精神科医) | 14日 | 十三地区等管理職会議 |
| 16日 | 施設コンサルテーション
(地域活動支援センターかけはし実地研修) | 18日 | 大阪府発達障害団体ネットワーク 第3回運
営委員会出席
施設コンサルテーション
(地域活動支援センター陽だまり実地研修) |
| 26日 | 地域支援体制サポート事業(熊取療育園訪問)
地域支援体制サポート事業 (地域支援セン
ターカーな実地研修) | 24日 | 施設コンサルテーション
(地域活動支援センターかけはし訪問)
施設コンサルテーション
(地域活動支援センター葉の花実地研修) |
| 28日 | 所内ケース会議 (山下 Dr. スーパービジョン) | 28日 | 成人期家族グループ下期 第1回
地域支援体制サポート事業
(熊取療育園、支援センターカーな実地研修)
地域支援体制サポート事業
(泉州中障がい者就業・生活支援センター、
地域支援センターカーな実地研修) |
| 10月 3日 | 十三地区等管理職会議 | 29日 | 施設コンサルテーション
(泉州中障がい者就業・生活支援センター訪問)
(新澤 記) |
| 5日 | 施設コンサルテーション
(地域活動支援センター陽だまり訪問) | | |
| 7日 | 福祉教育連携事業移行支援モデル事業 (守口
支援学校) | | |
| 11日 | 施設コンサルテーション
(地域活動支援センター葉の花実地研修) | | |
| 14日 | アクトおおさか4回連続講座 第4回「就労
にむけて」
講師 高橋亜希子 (ジョブジョイントおおさ
か副施設長) | | |

発達障害児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

- | | |
|-------|------------------|
| 9月 9日 | 保護者研修入門 |
| 16日 | ケース検討会 |
| 20日 | 発達障害児療育支援部 職員研修会 |
| 30日 | 保護者研修実践 |

- | | |
|---------|-------------------|
| 10月 14日 | 保護者研修入門 |
| 21日 | ケース検討会 |
| 28日 | 保護者研修実践 |
| 31日 | 発達障害児療育支援部 合同公開講座 |

- | | |
|---------|-----------------|
| 11月1~4日 | 個別支援計画素案作成 |
| 4日 | 保護者研修入門 |
| 7~18日 | 後期 個別支援計画立案面談開始 |
| 12日 | 法人研修 |
| 18日 | 保護者研修実践 |

○自閉症療育センター will

- | | |
|-------|--------------------|
| 9月 7日 | 保護者研修 入門 A |
| 10日 | 施設見学会 |
| 12日 | 保護者研修 入門 B |
| 17日 | 施設見学会 |
| 20日 | 発達障害児療育支援部 職員研修会 |
| 28日 | 平成22年度 療育児保護者実践交流会 |

- | | |
|--------|-------------------|
| 10月 5日 | 保護者研修 入門 A |
| 12日 | 保護者研修 入門 B |
| 15日 | 施設見学会 |
| 19日 | ケース検討会 |
| 29日 | 施設見学会 |
| 31日 | 発達障害児療育支援部 合同公開講座 |

- | | |
|-------|----------------------|
| 11月2日 | 保護者研修 入門 A |
| 7~18日 | 後期 個別支援計画立案面談開始 |
| 9日 | 保護者研修 入門 B |
| 12日 | 法人研修 |
| 26日 | 施設見学会 |
| 30日 | 平成22年度 療育終了保護者 実践交流会 |

○自閉症療育センター Link

- | | |
|---------|-------------------|
| 9月 8日 | 保護者研修 入門 B |
| 15日 | 保護者研修 入門 A |
| 20日 | 発達障害児療育支援部 職員研修会 |
| 22日 | ケース検討会 |
| 10月 13日 | 保護者研修 入門 A |
| 20日 | 保護者研修 入門 B |
| 27日 | ケース検討会 |
| 31日 | 発達障害児療育支援部 合同公開講座 |

- | | |
|----------|-----------------|
| 11月8~18日 | 後期 個別支援計画立案面談開始 |
| 10日 | 保護者研修 入門 A |
| 12日 | 法人研修 |
| 17日 | 保護者研修 入門 B |
| 24日 | ケース検討会 |

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

- | | |
|--|--|
| 9月 1日 避難訓練 | 9・10日 コロッケ出張販売 (高槻市食の文化祭) |
| 5日 十三地区管理職会議 | 15日 コロッケ出張販売 (高槻ふれあい祭) |
| 6日 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか
運営会議／グループリーダー会議 | 16日 コロッケ出張販売 (淀川河川敷フェスティバル) |
| 8日 レントゲン検査 | 17日 日帰り旅行 (A・Bグループ) |
| 9日 コロッケ担当者会議 | 19日 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか
運営会議／グループリーダー会議 |
| 10日 職員研修「リスクマネジメントについて」 | 24日 施設見学会 |
| 11日 コロッケ出張販売 (伊丹空港エアポート・
フェスティバル2011) | 25日 日帰り旅行 (Cグループ) / 地域自立支援協
議会事務局会議 |
| 15日 支援員会議 | 27日 支援員会議 |
| 20日 実習生受け入れ
(～10/24京都市立大学より1名) | 28日 コロッケ担当者会議 |
| 22日 コロッケ担当者会議 | 11月 2日 グループリーダー会議 |
| 24日 土曜開所日 | 7日 豊中支援学校協議会 (田端主任出席) |
| 26日 給食会議 | 8日 避難訓練 |
| 28日 大阪市障害児者施設協議会・研修会参加
(豊永支援員出席) | 9日 館内の消防設備点検 |
| 30日 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか
運営会議／グループリーダー会議 | 10日 コロッケ担当者会議 |
| 10月 3日 十三地区管理職会議 | 14日 十三地区管理職会議 |
| 5日 グループリーダー会議 | 17日 支援員会議 |
| 6日 大阪市障害者施設合同説明会／コロッケ担当
者会議 | 22日 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか
運営会議／グループリーダー会議 |
| 7日 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか
運営会議 | 24日 コロッケ担当者会議 |
| 8日 コロッケ出張販売 (カフェBeありがとう祭) | 26日 ジョブサイトよど祭り |
| | 28日 施設見学会 |
| | 29日 給食会議 |
- (佐々木祐 記)



コロッケ出張販売
(淀川河川敷フェスタ)



よど祭り (ゲームコーナー)



よど祭り (小濱達郎さんライブ)

ぷれいすBe 掲示板

- | | |
|---|--|
| 9月6～8日 阿武野高校自立支援コースより生徒2名の実
習受け入れ | 10月 1日 家族会定例会に参加 |
| 10日 カフェコンサート
(出演: 激団モンゴイカ様 来場者数102名) | 5～11日 テミルプロジェクト催事 松坂屋名古屋店
にてガレット販売 |
| 13日 短期入所研修会
(ぷれいすBe・ショートステイぷれす合同)
「支援者の基本姿勢、コミュニケーション等」 | 8・15日 カフェBeありがとう祭開催
1. 約20店舗からの出店 (こだわりの有機
野菜や新米、卵にしいたけ等の他、美
味しいパンやスイーツ等)
2. ミニライブ (月陽様、小濱達郎様) |
| 15日 内部研修「救急救命講習」を高槻北消防署の
指導のもと実施 | 9～10日 高槻市食の文化祭に出店
ミルクコーヒー、ガレット、よどのコロッ
ケを販売 |
| 27日 大阪府立大学より作業療法士実習として学生
2名を受け入れ | 11～21日 兵庫医療大学より作業療法士実習として学生 |

- 1名を受け入れ
 12～18日 テミルプロジェクト催事 ららぽーと横浜にてガレット販売
 13日 阪急高槻駅前「お酒のデパートもりもと」様にてガレット販売開始
 15日 高槻ふれあい広場でガレット販売
 ジョブサイトひむろ家族会の皆様にご協力
 いただく
 19～25日 テミルプロジェクト催事 松坂屋銀座店にてガレット販売
 20日 内部研修「短期入所について」「相談支援について」
 26日 藍野大学より作業療法士実習として学生3名を受け入れ（26日、11月2日、9日、16日の合計4日間）
 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会はぐくみの勉強会にてガレット販売
 29日 相談支援事業強化事業啓発講座実施（カフェBe）
 「～大人の発達障害～なるほど!そういうことか」
 （主催：あんだんて）

- 31日 消防訓練・避難訓練を実施
 「発達障がい児療育支援部合同公開講座」にてガレット販売
 10月の見学：6件21名
 11月2～8日 テミルプロジェクト催事
 浦和パルコにてガレット販売
 9・10日 高槻二中より生徒3名をカフェBeにて職業体験実習受け入れ
 14日 焼き芋大会実施
 16～20日 テミルプロジェクト催事
 大丸心斎橋店にてガレット販売
 18日 郡家小学校より4年生約20名を社会科見学として受け入れ
 26日 カフェコンサート
 （出演：石原詩織様&たつを様 来場者数117名）
 30日 法人主催の「福祉・医療連携講演会」にてガレット販売
 11月の見学：4件32名

（下 記）



カフェコンサート 激団モンゴイカ様



焼き芋大会



カフェコンサート 石原さん&たつをさん

ジョブジョイントおおさか掲示板

- 9月 2日 避難訓練
 8日 レントゲン検査（希望者のみ）
 24日 土曜開所日 「土曜クラブ」
 26日 会社見学会 株式会社 あしすと阪急 利用者8名訪問
 27日 「障がい者雇用フォーラムin大阪」 利用者5名参加
 28日 ドラフト会議
 10月 6日 障害者合同面接会 利用者全員参加
 11～22日 第3四半期個別支援計画懇談
 17日 家族会定例会
 22日 土曜開所日 「土曜クラブ」
 11月 9日 ライフクオリティビューティーセミナー開催（ご協力：株式会社 資生堂）
 11日 会社見学会 株式会社 エクセディ太陽 利用者7名訪問
 26日 土曜開所日 「土曜クラブ」



ライフクオリティビューティーセミナーの様子

萩の杜家族会掲示板

- | | | | |
|---------|-----------------------------|---------|-----------------------------|
| 9月 11日 | イオンイエローレシートキャンペーン活動 | 27日 | サークル萩開催 手作り品の作成と情報交換 |
| 22日 | サークル萩開催 手作り品の作成と情報交換 | 28・29日 | ふくろうの森バザー参加 |
| 25日 | カトリック教会にて花の販売
定例会、フリートーク | 31日 | 安全対策委員会 |
| | 1 利用者の高齢化、障害重度化対策について | 11月 11日 | イオンイエローレシートキャンペーン活動 |
| | 2 安全対策委員会報告 | 16日 | 4 家族会会長懇談会 |
| | 3 成年後見制度勉強会について | 17日 | かんなびの丘成年後見制度相談会 |
| | 4 4 家族会会長懇談会報告 | 24日 | サークル萩開催 手作り品の作成と情報交換 |
| | 5 各分会からの活動報告 | 27日 | カトリック教会にて花の販売
定例会、フリートーク |
| | 6 萩の杜からの報告 | | 1 安全対策委員会報告 |
| | 7 その他 | | 2 成年後見制度勉強会報告 |
| 26日 | 広報部会 機関紙発送協力 | | 3 4 家族会会長懇談会報告 |
| 29日 | 成年後見制度勉強会 | | 4 各分会からの活動報告 |
| | | | 5 萩の杜からの報告 |
| 10月 11日 | イオンイエローレシートキャンペーン活動 | | 6 その他 |
| 15日 | 高槻ふれあい広場バザー参加 | 30日 | 法人主催「福祉・医療連携」講演会
(飯塚 記) |
| 16日 | 奥坂コミセンバザー参加 | | |
| 23日 | カトリック教会バザー参加 | | |

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 9月 15日 | 家族会定例会（現代劇場 42名出席）
議題 | | 感想：ジョブサイトひむろの特色が出せるような工夫が必要
ジョブサイトひむろの製作作品があればもっと良かった |
| | 1. 家族会会費の振込先変更について | 22日 | カフェ開所（ふれいすBe 28名出席）
施設長を交えて家族揃った懇親の場として定着、より多くの参加者を望みたい |
| | 2. 会長報告 | 26日 | ケアホーム説明会（現代劇場 22名出席）
より具体的な意見交換を行う
広報委員会・機関紙第47号発送協力（法人本部 5名出席） |
| | 3. 法人報告
上期収支報告
高齢化重度化対策
診療所について | 11月 6日 | 北摂杉の子会理事・評議員会（学習センター 豊澤会長出席） |
| | 4. ひむろ報告 | 7日 | 家族会役員会（ふれいすBe 役員8名出席） |
| | 5. バザー対策
配置時間割を細かくし、多くの方が参加して親睦の実をあげる。売れるものを集めたい | | 1. バザー統括 |
| | 家族会会長会議（法人本部 豊澤会長出席）
自由テーマ
特に「よどのコロッケ」「ガレット」について多くの時間を割く | | 2. 次回の定例会を12月12日(月)とする |
| 28日 | 後援会役員会（法人本部 豊澤会長出席）
後援会の実情及び今後の進め方について検討 | | 3. 来年度の役員改選について
会計沖本さんの後任
会計監査明定さんの後任
事務局山田さんの後任 |
| 29日 | 成年後見人制度勉強会（現代劇場 33名出席）
NPO「かんなびの丘」山際理事より現状について伺う
NPO設立については専門的で熱意のあるリーダーが必要
キャラバンメイト、リガールソフトなど新しい言葉を知る | | 4. 11月30日の真野先生の講演会の参加啓蒙 |
| 10月 5日 | ケアホーム起工式（建設予定地 豊澤会長・東出席） | | 5. 家族会会費の振込先変更後の状況について |
| 6日 | ケアホーム希望者の会（現代劇場 24名出席）
起工式を終えてみなさんの希望が一層強く感じた | 16日 | 家族会会長会議（法人本部 豊澤会長出席）
家族会の催しなどの相互の連絡が不十分
情報を共有し、より密接に協力し合うことが必要
後見人の必要性
財産管理、人権擁護、非常時（交通事故、災害） |
| 15日 | 高槻ふれあいバザー（市役所前 33名参加）
売り上げ 127,241円
「よどのコロッケ」 30,000円
「ガレット」 15,660円
「クッキー」 3,700円 | 30日 | 法人主催「福祉・医療連携」講演会（現代劇場 28名出席）
自己紹介から始まり、先生の想い、医師としての経験をどう活かすか、北摂杉の子会とどのように関わりあっていくか等、 |

是非一緒に新しい試みに挑みましょう。という力強いお話に万雷の拍手

(妹尾 記)

ケアホーム希望者の会 現況

- 10月 3日 事前打ち合わせ（法人本部 佐々木総務部長・平野施設長・東世話人出席）
次回開催予定（10/6）の希望者の会の事前打ち合わせ実施
- 5日 ケアホーム起工式・建設予定地（高槻市奈佐原3丁目192・豊澤会長・東世話人出席）
（仮称）レジデンス「そら」・「にじ」・「さん」のケアホーム
- 6日 ケアホーム希望者の会（現代劇場 24名出席）
1 ケアホーム建設に関する進捗状況の説明
佐々木総務部長
2 ケアホーム支援体制について 平野施設長
3 質疑応答
- 26日 ケアホーム希望者の会（現代劇場 22名出席）
1 利用者資金計画・借入金返済計画
佐々木総務部長
2 近隣住民との確認書について
沖本副理事長
3 質疑応答 部屋のオプションなどの確認を個別に実施

※9月と11月につきましては特に掲載事項はございませんでした。

世話人 東様よりのご報告をまとめました。

(妹尾 記)

北摂杉の子会 親睦ゴルフ会報告

機関誌10月号、ジョブサイトひむろ家族会掲示板の続きに、囲み記事掲載をしていただきました「北摂杉の子会 懇親ゴルフ会の発足」のお陰をもちまして第2回目のコンペを11月29日に催しました。秋の空気に囲まれて絶好のゴルフ日和で大いに楽しみました。
次回は1月か2月に行おうかと思っております。多数参加いただければ懇親効果は一層上がるものと考えております。

世話人代表 ひむろ家族会 豊澤進
連絡先 072-669-1464 090-6673-7689

追加報告

- 第1回優勝者 本田英世様（萩の杜）
準優勝 東 敬司様（ジョブサイトひむろ）
第2回優勝者 本田英世様（萩の杜）
準優勝 東 敬司様（ジョブサイトひむろ）

ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

- 9月 5日 オアシス座談会で100円喫茶実施
家族会役員会 100円喫茶実施
- 8日 オアシス役員会で100円喫茶実施
- 12日 勉強会（オアシスと共催）
講師 松上常務理事「ケアホームについて」
など
100円喫茶実施
- 13日 十三市に参加
- 15日 法人家族会会長懇親会（会長参加）
- 16日 大阪府発達障害団体ネットワーク臨時役員会（会長 会計 参加）
- 27日 オアシスサロンで100円喫茶実施
- 29日 法人の勉強会に参加（家族会から6名参加）
- 10月 3日 家族会役員会実施 100円喫茶実施
- 6日 オアシス役員会で100円喫茶実施
- 13日 十三市に参加
- 17日 オアシスサロンで100円喫茶実施
10月定例会実施（23名参加）
松上施設長 佐々木副施設長 高橋副施設長 参加
勉強会（淀川区役所）
講師 市民協働課災害対策担当係長
「災害の備え、淀川区の災害に対する対策」
- 23日 バザー（オアシスと共催）
堺市のファインプラザ大阪のファインエリアフェスティバルに参加
大阪府障害者職業能力開発校校長との懇談（オアシス副会長 会長）
- 31日 勉強会（オアシス共催）12名参加
講師 大阪市立リハビリテーションセンター

心理担当係長 堀内桂 氏
「就労について」

- 11月 7日 家族会役員会実施 100円喫茶実施
- 10日 オアシス役員会で100円喫茶実施
- 14日 オアシスサロンで100円喫茶実施
- 15日 勉強会（オアシスと共催）17名参加
講師 大阪市発達障害支援センター副所長
井上芳子 氏
「就労について」
- 24日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会（会長 会計 参加）
- 26日 よど祭り バザー 100円喫茶を実施 家族会30名参加
- 30日 法人主催「福祉・医療連携」講演会 家族会5名参加

(福田 記)



よど家族会 勉強会 災害の備え
淀川区の災害に対する対策

ぶれいすBe家族会掲示板

- 9月 2日 グループ別参観&ランチ AR3、AR107
8日 第2期第5回役員会(場所:ぶれいすBe会議室)
1 10月1日定例会開催について
2 グループ別参観&ランチ他、下半期のスケジュールについて
3 「地域に生きる」掲示板6~8月原稿について
4 その他
14日 家族会会長懇談会に出席
20日 グループ別参観&ランチ AR4
臨時役員会
▪ 10月1日の定例会最終準備打ち合わせ
29日 萩の杜家族会主催「成年後見制度勉強会」に参加
- 10月 1日 家族会定例会(場所:カフェBe)参加者:22家族23名
1 上半期の活動報告並びに収支報告
2 下半期の活動計画
3 質疑応答、要望等
4 ケアホーム建設にむけた経緯、概要
沖本卓郎副理事長
5 法人全体の動きについて
松上利男常務理事
6 ぶれいすBe 平成23年度事業の中間報告
下裕幸施設長
13日 第2期第6回役員会(場所:ぶれいすBe会議室)
1 10月1日の定例会の報告書確認。全会員に配布。
2 グループ別参観&ランチ 10月、11月の確認
3 11月4日「萩の杜見学会」の準備、役割について
4 12月3日「父親の会」案内文書の確認
5 法人への今年度の寄附手続きについて
6 次期役員候補公募について
7 その他
- 21日 グループ別参観&ランチ AR5、AR6
11月 4日 「萩の杜」見学会 参加者 23家族24名
1 当施設の立ち上げ時の熱い思いや「地域に生きる」の理念について
松上利男常務理事
2 2班に分かれ、勝部施設長・木戸副施設長より施設内を案内
3 見学終了後、カフェBeにもどりランチをいただいて解散
6日 理事・評議員会に出席
10日 第2期第7回役員会(場所:ぶれいすBe会議室)
1 11月28日のグループ別参観&ランチ CL 案内状配布
2 12月3日の父親の会 案内状配布
3 「萩の杜見学会」を終わって、寄せられた感想文を確認
4 その他
16日 家族会会長懇談会に出席
28日 グループ別参観&ランチ CL
7月1日から本日まで6回にわたってグループ毎に分けての施設参観(&ランチ)を計画、のべ38家族43名(役員含む)の方々に参加いただきました。
参加者の中には仕事のスケジュールを調整してきたと言われるお父さん等もおられたり(お父さんも数名ご参加になりました)子供達の施設の中をつぶさに見るのは皆さん初めてで、その中で真剣に作業にとりくんでいる子供の姿に感激した、子供達と同じランチをいただきながら会員同士の語りもあり、また新しい親睦を深めることが出来た等、うれしい感想も多くお寄せくださいました
30日 法人主催「福祉・医療連携」講演会(場所:高槻現代劇場)に出席 (本城 記)

大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス掲示板

- 9月 5日 新澤先生を囲むでの座談会
8日 9月度役員会
12日 勉強会(共催:ジョブサイトよど家族会)
12名参加
講師:松上先生
25日 大阪自閉症協会との意見交換会(会長・副会長3名出席)
27日 オアシスサロン(長居障害者スポーツセンター和室)
- 10月 4日 枚方市・交野市訪問(副会長)
6日 10月度役員会
9日 大阪自閉症協会との意見交換会(副会長出席)
17日 オアシスサロン
23日 ファインエリアフェスティバルバザー(役員・委員参加)
- 31日 勉強会(共催:ジョブサイトよど共催)
講師:堀内先生
11月 3日 公開講座(大阪市立難波市民学習センター4階講堂)62名参加
講師:新澤先生
6日 北摂杉の子会理事・評議員会(相談役出席)
10日 11月度役員会
14日 オアシスサロン
18日 大阪府発達障がい団体ネットワーク会(会長・副会長出席)
26日 よど祭り(役員参加)
29日 ホットメールなにわ会合(会長・副会長出席) (前野 記)

北摂杉の子会後援会掲示板

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ふれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

11月
個人会員：517名、団体会員：12団体
合計：529名／団体
寄付：3件

<近況報告・会員数>

9月

個人会員：515名、団体会員：12団体
合計：527名／団体
寄付：なし

10月

個人会員：515名、団体会員：12団体
合計：527名／団体
寄付：なし

<行事>

臨時役員会を開催（高槻現代劇場）

平成23年9月28日

新役員紹介の後、後援会の現状及び資金集めなど今後のあり方を協議

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座までお願いいたします。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金 (注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史 口座番号：5085555

法人へのご寄附に感謝いたします。(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

東 敬司 板倉幸造 垣端敏栄 副島雄彦 田中 収 西原清二 新田利秀 登間佐孝男 福本 宏 三宅達也 森 泰雄
山口 博 本射滋己 河端良一 梁 恵子 徳永富美江 小川敏夫 中村節史 成田憲彦 棚山薫晴 高木信次郎 神戸扶美枝
大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス

後援会入会と会費納入(平成23年8月23日～平成23年11月27日)

塩田好子 黒田節子 伊藤 茂 有川航平 有川智美 有川輝久 有川光洋 川田紀久夫 有川由子 本田利秋 本田宏美
本田 聡 本田俊之 本田賀子 本田英世 有川洋太郎 川崎舞子 坂口 誠 中尾泰子 鈴木啓子 鈴木規子 奥 昌子
大野晴夫 大野博美 大野博夫 大野昭彦 大野容子 大野捷昭 富坂昭子 富坂健治 大野忠春 岩 敬子 岩 愛子 岩 弘子
岩 忠 小川祥子 小川敏夫 小林夏子 徳本晴美 倉本 周 広井 泉 広井良平 小林和美 調 佳枝 吉田保子 木下治一
中村忠雄 大谷千由子 塩田裕正

後援会への寄付(平成23年8月24日～平成23年11月30日)

軽込 昇 諸富信子 棚山薫晴

家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

植松芳哲 田口容子 本田英世

物品のご提供に感謝いたします。(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

前田富士江 横田智磨子 鶴谷久子 増澤恵美子 高相陽子 田口道代 黒瀬美和子
岡田公子 南野 月岡 古賀 吉田

ボランティアに感謝いたします。(平成23年9月1日～平成23年11月30日)

今村美佐代 佐々木英世 坂井恵美子 草刈茂代 山田雅敏 前田龍秀 西本 愛 坂井真由美 古川さやか 小川 瑞江

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-6 奥野ビル402
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜 (施設入所支援・生活介護)**
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **ケアホーム とんだ (共同生活介護)**
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **ケアホーム みやた (共同生活介護)**
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぷれいすBe**
(生活介護・自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて (相談支援事業)**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **高槻障がい者地域生活移行支援センター だ・かーぼ**
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] da-capo@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12 イトウビル1F
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **大阪自閉症支援センター**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an (児童デイサービス)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童デイサービス・発達障がい療育等支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童デイサービス・発達障がい療育等支援事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど (生活介護・就労継続支援B型)**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目9-8 十三東ビル2F
TEL&FAX (06)6100-0150
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住 所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2012年1月10日

定価100円